

三條南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



ときを
超えて

出席率 会員45名中37名

先々週の出席率 95.24%

先週のメイクアップ

9/12 加茂RCへ 松崎孝史君 坪井正康君

9/18 三條RCへ 船久保孝志君

9/19 三條RACへ 野中 悟君

9/21 三條RAC車椅子清掃へ 野中 悟君

9/21 第4分区IMへ 16名

9/26 三條東RCへ

船久保孝志君 吉井正孝君

9/28 米山奨学委員長セミナー（新潟）へ

吉井正孝君



会長挨拶

三條南ロータリークラブ会長

草野恒輔

こんにちは。

第四分区IM（Intercity Meeting）が9月21日に三條東ロータリークラブをホストクラブとして燕三條ワシントンホテルで行われました。テーマは『会員増強・退会防止』です。

詳細については後程、4名の方々に報告していただきますが、特筆すべきは大溪先生の発表でした。当クラブの歴史、そして会員数の変遷とその考察、今後の方針について話していただきました。内容は勿論のこと、堂々たる発表の態度・言葉使いは「すごい」の一言でした。発表終了後、当クラブ全員が先生を拍手でお迎えしたのも前代未聞のことと思われます。大溪先生、本当に有難うございました。また、三條南クラブの底力を見せたと確信致しました。

さて、今月は「新世代のための月間」です。ライラ研修会は10月5日、6日に行われますが委員長の馬場眞樹さん、高橋祐介さん、大変なご苦労をおかけします。どうか実りある研修会になる事を期待しています。

超新世代といったらいいのか、小学6年生の女の子の話です。国語の先生が受け取ったメールなのですが、送信者・受信者の許可を得ましたので、公表します。

～ いろんな詩を知っている人に話をしたくてメールしました。今日、私は今までの中でも一番好きな詩を見つけました。

「1秒の言葉」です。作者は小林吉宏です。

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから

I 真実かどうか

II みんなに公平か

III 好意と友情を深めるか

IV みんなのためになるか どうか



国際ロータリー会長 ロンD. バートン [アメリカ]

第2560地区ガバナー 山崎 堅 輔 [中 条]

第4分区AG 鈴木 守 男 [三條東]

会 長 草 野 恒 輔

幹 事 平 松 修 之

S A A 齋 藤 嘉 一

事 務 局 〒955-8666 三條市旭町2-5-10

三條信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp

「はじめて」

この1秒ほどの短い言葉に一生のときめきを感じることがある。

「ありがとう」

この1秒ほどの短い言葉に人のやさしさを感じることがある。

「がんばって」

この1秒ほどの短い言葉で勇気がよみがえってくることがある。

「おめでとう」

この1秒ほどの短い言葉で幸せにあふれることがある。

「ごめんなさい」

この1秒ほどの短い言葉に人の弱さを見ることがある。

「さようなら」

この1秒ほどの短い言葉が一生の別れになるときがある。

1秒に喜び、1秒に泣く。一生懸命、1秒。

以上の詩をメールで送ってきました。読書家である女の子の感性と思慮深さにびっくりしました。この子達の時代も日本は一流国だと確信した次第です。

実は、“じじ馬鹿”の私が孫娘の話を皆さんに無理やり聞かせてしまいました。ご清聴を有難うございます。

さあー2句 脳のシワ 顔に出てると 孫がほめ
孫たちに アドレス聞かれ 番地言う

幹事報告

平 松 修 之 幹事

山崎ガバナー事務所より

①「山崎年度防減災セミナー」開催のご案内

〔日時〕 2013年10月13日(日) 10:00~15:00 〔会場〕 長岡震災アーカイブセンター
※ 草野恒輔会長(緊急連絡対応者)出席予定

② 10月ロータリーレートのご案内 10月1日より 現行と同じく 1ドル=100円

鈴木守男第4分区ガバナー補佐、三条東ロータリークラブより「第4分区 IM」出席協力お礼

9月21日(土) 於: 燕三条ワシントンホテル 当クラブ16名出席

白根ロータリークラブより 事務局移転のご案内

新事務所 〒950-1209 新潟市南区親和町5-1 田中行政書士事務所内
TEL 025-373-5230 FAX 025-373-5241
E-mail shirone.rc@aionos.ocn.ne.jp

三条ロータリーアクトクラブより「長久の家寮生とのボウリング大会」のご案内

〔日時〕 2013年10月24日(木) 19:00~ 〔会場〕 サカイボウル

見附ロータリークラブ(見附新聞社)より

「第4分区会員名簿・企業紹介」で紹介の『ナジラビ県央版2013秋』

委員会報告

親睦・プログラム委員会

銅 冶 康 之 委員長

秋の味覚例会のご案内

と き 2013年10月28日(月) 18:30~

ところ 鉄板焼 峰 ☎ 33-1123

会 費 3,000円

キャンセル 10月25日(金) PM5:00までにご連絡下さい。それ以降会費ご負担いただきます。

秋の夜長、秋の味わいをお酒とともに、ゆっくりじっくりお楽しみ下さい。多くの皆様のご出席をお待ちしております。

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

～ 9月30日 18,111円
今年度累計 246,661円～

- 草野君 9月21日、IMが開催されました。大成功の会となりました。皆様、大変ご苦勞様でした。
- 平松君 先日のIMご出席の皆様、ご苦勞様でした。本日は報告会です。発表される方、よろしくお願いします。
- 坪井君 IM、大溪会員増強委員長ご苦勞様でした。BOXに協力。
- 野中君 IMご出席の皆様ご苦勞様でした。本日は発表よろしくお願いします。
- 馬場(信)君 9/2の南のクラブ週報の3頁に『ロータリーの友』2009年5月号掲載の「経済効果は天地人から」の記事がありましたのでビックリしてBOXに協力します。
- 佐藤(嘉)君 先月20日に手術をして、傷口もやっと落着いてきたので本日より久しぶりに復帰します。会よりお見舞いいただき有難うございました。
また先日、97～98年1年交換学生だったヴィッキーが遊びに来てくれました。来日日程が忙しいらしく1時間位でしたが、なつかしく楽しい時間でした。
- 丸山君 明日からもう10月。時が経つのは早いです。あと3ヶ月でまた一年が終わる・・・。
- 西潟君 久しぶりの例会です。皆様お元気そうでなによりです。
- 渡邊(久)君 都合により早退します。
坂本君、滝口君、銅冶君、渡辺(俊)君
BOXに協力いたします。

Club Forum IM報告会

クラブ・フォーラム

9月21日(土) 於：燕三条ワシントンホテル

IM 都市連合会 (Intercity Meeting)

近隣都市数クラブが集まって開かれるロータリーの会合。討論の主な内容は、4大奉仕部門をカバーしつつ、ロータリーの特徴やプログラムなどを検討する。クラブ会員全員参加のこの会合の目的は、会員相互の親睦と知識を広めることであって、さらに、会員にロータリー情報を伝え、奉仕の理想を勉強するために開催される。決議や決定はない。IMへの出席はメイクアップとなる。

パネルディスカッション 「会員増強・退会防止」

◆コーディネーター 三条東RC

小出 和子

◇パネラー

三条RC 2010-11年度会員増強委員長

小越 憲泰

燕RC 会長

長谷川克紀

加茂RC 会員増強委員長

三浦 伸一

三条南RC 会員増強委員長

大溪 秀夫

三条北RC 会長

丸山 勝



「会員増強・退会防止」について

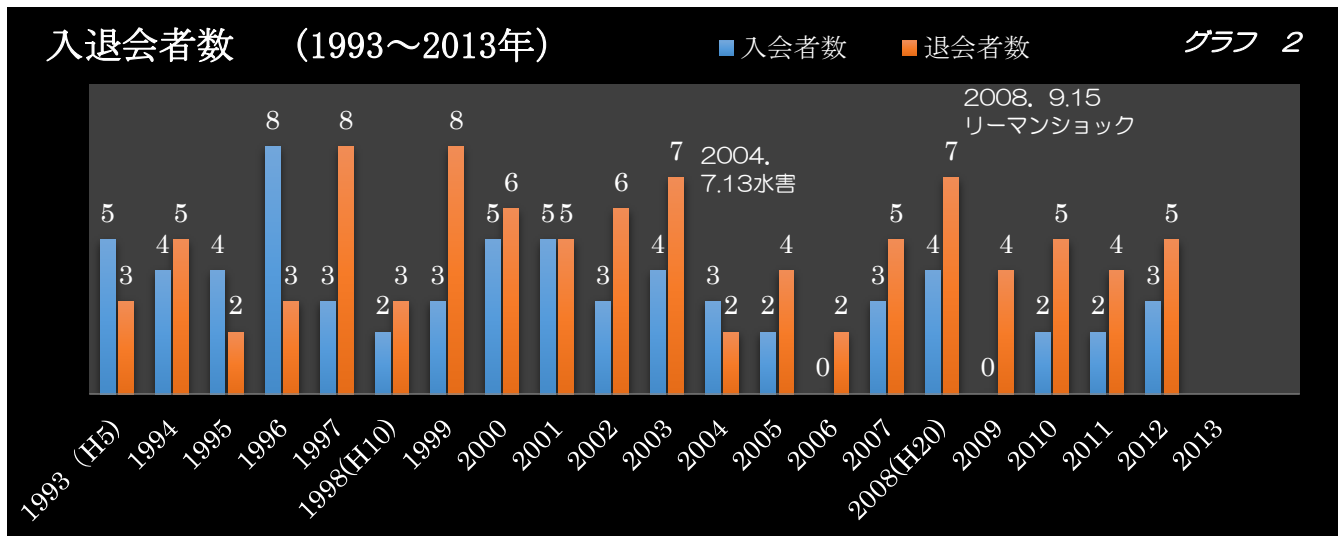
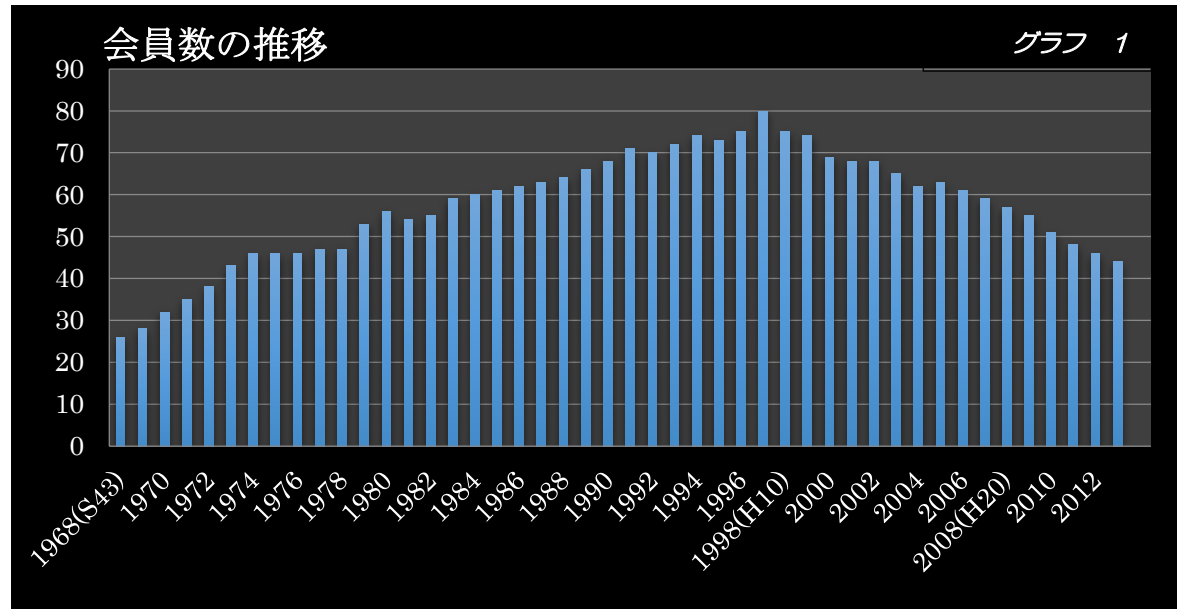
三条南ロータリークラブ 大溪 秀夫

1. クラブの現状について

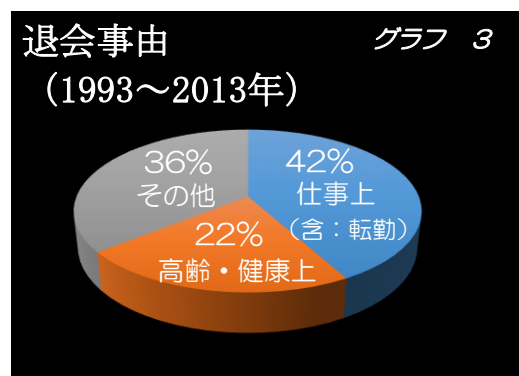
三条南クラブの現状についてお話いたします。

1968年(昭和43年)6月20日に26名で、三条クラブをスポンサークラブとして2560地区において28番目に創立いたしました。以来、今年で46年目となります。

その後、30 年目の 1998 年（平成 10 年）までは順調に成長し、会員数は 80 名になりました。しかし、これを頂点に会員数は年々減少し、現在は 44 名となっています。【グラフ 1】



員数の減少は、我がクラブに限ったことではなく、今年の“ロータリーの友” 8 月号を見ますと、日本のロータリークラブの会員数は、1998 年には 13 万人でありましたが、現在は 8 万 8 千人に減少しております。この原因を過去 20 年に遡って分析してみますと、1998 年（平成 10 年）から退会者が入会者の人数を上回ようになってきています。【グラフ 2】



これはバブル崩壊、2004 年（平成 16 年）7 月 13 日の水害、また 2008 年（平成 20 年）のリーマンショックが関係していると思われます。そのためか、2006 年、2009 年には入会者がおりませんでした。延べ人数で言いますと、1993 年（平成 5 年）～2013 年（平成 25 年）までに 65 名が入会し、94 名が退会しています。毎年 2 名ずつ減少していることになります。

退会事由について目を向けてみますと、仕事上の都合：42%、高齢・健康上の都合：22%、その他（ロータリーへの意識変化）：36% となっております。【グラフ 3】

2. 一番の問題について

何といたっても会員数の減少です。会員の減少は、クラブの平均年齢の上昇（当クラブは 62.3 歳）、硬直化やマンネリ化に陥る危険性があり、クラブの活性化が失われていく要因になります。では、どうすれば減少を食い止め、また、増強できるのかが、最大のポイントです。

以前“ロータリーの友”を読んでいた時に、印象に残っている言葉（文章）があります。「ロータリーには三大義務があり、例会出席、会費納入、そして、“ロータリーの友”の購読ですが、それに加えて、自分がロータリーを退会するまでに 1～2 人の人を入会させること」とありました。これなら、会員の減少はないと思いますが、そう簡単にはいきません。

ロータリーの奉仕の精神を念頭に、現会員の維持のため、クラブ会員が積極的に活動できるクラブ奉仕が必須となります。

辛い当クラブは、創立以来、年間出席率が90%を割ったことはありません。例会出席を楽しみ、己を磨き、社会に奉仕することは、『情けは人のためならず』に通じるものがあると思います。そして、職業分類表をよく見て、現在までにいなくなった、或いは空白の職業の解析を行い、再入会、または入会の機会の可能性を探すことも必要と思われる。

また、公共イメージも会員増強に役立つと思われ、広報を通じてロータリーの意義ある活動を地域の人々に知ってもらうことも欠かせないと思います。そして、血縁、会社の縁などではなく、ロータリー精神に賛同する人を一人でも発掘できれば、これに越したことはないと思います。

大溪秀夫会員増強委員長、ディスカッション発表内容より

田代 徳太郎 会員



9月21日(土)、燕三条ワシントンホテルで開催された「第4分区IM」に出席して参りました。

テーマは「会員増強と退会防止」。ご来賓は、山崎ガバナー(G)、中條パストガバナー(PG)、馬場パストガバナーの3名でした。

山崎Gは、IMは、かつてはIGF(Intercity General Forum)と呼ばれていたこと、後にIM(Intercity Meeting)と名称が変わったことや、ForumとMeetingの意味合いの違いなどを述べられ、また、今回のテーマは時宜を得たものと評価されました。

基調講演は中條PGが務められ、そのお話の中

RIは世界で123万人会員を10年計画で130万人に増強しようと意気込んでいる、その一方で日本のロータリーは1945年の終戦後からは会員が着実に増え発展してきたが、50年経った1995(平成7)年の13万人をピークにその後は減少し続け、2012(平成24)年は8万8千人となり、約4万人が減り、アメリカと同様に減少し、国別で2位の座をインドに譲った。世界ではアメリカと日本を除き、他の国は増えている。

とロータリーの現状を説明されました。

続いてのパネルディスカッションでは、各クラブの現状と問題点が話し合われ、その要点をご紹介します。

〔三条RC〕

クラブ創立57年、在籍50年以上の89歳と86歳の会員がおられ、今もほとんどの例会に出席されている。一番若い会員は47歳。

会員の勧誘をすると「入会すると何のメリットがあるか」と問われることがある。それには「ロータリーは友達づくりの場であり、入会してロータリーの活動に参加して、皆で協力することによってその良さが発生するものである」と説明している。会員増強はメンバー一人一人の情報提供が頼り。

〔燕RC〕

クラブの中身の充実が大切。過去5年分の卓話集を作成。卓話は、聞く側も勉強になり、感動することがある。話す方は自分の経験や、仕事に対しての考え方を述べることによって充実してくる。

また、燕クラブは、『お靴のベツ』という幼児が靴を揃える習慣を身につける活動を12年間続けている。分水や吉田クラブだけでなく、多くのクラブに広めていきたい。そのような活動を通して充実し、自信となることによって堂々と会員勧誘ができる。

〔加茂RC〕

一番の問題点は景気の低迷。加茂市の事業所はピーク時に比べ400軒が減り、1,000軒を割り900軒となった。会員増強に努めてきたが結果が付いてこない。会員減少は危機の現れで、ロータリーの危機の本質は、本来持っていたロータリーの魅力や力が失われつつあること。社会的存在価値が問われている。

新しい人を誘うには、自分たちのことを知り、自分たちの会の魅力を語らなければならないとしている。

〔三条北RC〕

過去10年の歴代会長が「会員増強と退会防止」をクラブ会長方針に入れてきた。過去10年間の新会員候補者の推薦に対して30%の確率で入会されている。過去会員数を減らしたことがない。全ての会員が「会員増強はロータリアン一人ひとりの責務」と理解すること、そして秘策はないが、ロータリーを良く知ってもらうことが退会防止につながるものだと思っている。

鈴木 罔彦 会員

第4分区IM、今年は創立8年目の三条東クラブがホストクラブとして開催にあたり、11RC約170名の会員が一堂に会した。

基調講演は、PGの中條耕二氏。「会員増強・退会防止」について30分間の講演であった。

内容は、●日本の、2560地区の、そして三条市内のロータリーの歴史から現状

●サクセスジャパン大作戦

●会員増強のあり方

●ロータリーの仲間 について。



活発な活動や楽しい雰囲気クラブ、増強に熱心なクラブには若い人が集まる、会員増強には人と人とのコミュニケーションが大切であり、経費も時間もかかることであり、クラブで予算付けすることも必要なのではないか。要は新会員の立場に立って勧誘に努めることが肝心であるとのアドバイスであった。

パネルディスカッションについては、田代さんの報告と重複する箇所は省かせていただきご報告いたしますと、

三条RC・・・いかなる組織もその活力を維持し発展するには会員の増強は必須条件であり、ロータリークラブの社会奉仕事業である住みよい地域づくりのためにも一人でも多くの仲間を増やしていきたい。

燕 RC・・・前述の卓話集について、基本的には卓話は例会で事務局が録音し、ほぼ言葉通りに文書化されたものを編集。この卓話集が予想以上に大きな影響を与えている。

加茂RC・・・これまでクラブ内に種々の同好会が多くあり活動を続けてきたが、会員の減少に伴い無くなっていった。

私たちは、山崎ガバナーが言われたように原点に立ち返り、「クラブの存在価値は」「どういうサービスで社会貢献しようとしているのか」「会員にとっても、地域社会にとっても本当に魅力的か」を誠実に追求し、一人でも多くの仲間を増やすよう努めたい。

三条南RC・・・会員数の減少、平均年齢の上昇が一番の問題点としてあげられる。職業分類表をよく見て、いなくなった或いは空白の職業の解析を行い、再入会または入会の機会の可能性を探すことも必要。

三条北RC・・・現会員数 71 名、第 4 分区で一番多い。
会員増強はロータリアン一人一人の責務として行動しなければならない。

坪井 正康 会員



「第4分区IM」の出席報告を簡単に申し上げます。

全体にとっても良い会だったと思います。

山崎ガバナー、鈴木守男ガバナー補佐の挨拶の後、中條耕二PGが「ロータリーの現状と会員増強の必要性と対策について」基調講演されました。

その後、パネルディスカッションがあり、「会員増強と退会防止」のテーマのもと、5人のパネラーの発表がありました。我が南ロータリークラブからは大湊会員増強委員長が務められ、立派なスピーチをされました。

ただ、テーマの問題が大きすぎ、難問すぎるため簡単に結論は出るわけではないのですが、現状認識と対策は、これから考えていかなければならない問題です。会を楽しくする、先輩は後輩の面倒をみる等入会してよかったと思ってもらえるよう努力し、ロータリーのメリットを強調して人材を発掘し、強く勧誘していくといったことが必要だろうと結論されました。

最後にパネルディスカッションをコーディネート、司会をされた東クラブの小出和子会長は立派な司会ぶりであったと感心しました。時間も予定通り、遅滞なく進行了のも良かったです。

懇親会 風景





[出席者] 16名

馬場信彦君	大溪秀夫君	草野恒輔君	平松修之君	銅冶康之君	星野健司君
丸山征夫君	西巻克郎君	野島廣一郎君	野中 悟君	野崎正明君	鈴木罔彦君
田代徳太郎君	坪井正康君	吉井正孝君	渡邊久晃君		

お忙しい中、ご出席ありがとうございました

委員会報告 その2



出席委員会

西 巻 克 郎 委員長

7～9 月の出席状況について

今年度に入り 3 ヶ月が過ぎました。皆様のご協力のもと、出席率につきまして好スタートをきっております。出席状況につきましては下記の通りです。

新会員のお二人を迎えることもでき、毎例会多くの皆様よりご出席いただき、和気藹々と活発な活動ができておりますこと、皆様のご協力に心より感謝申し上げます。今後どうぞよろしくお願いいたします。

7 月平均出席率	92.82
8 月	92.58
9 月（9 月 9 日例会まで）	93.08
3 ヶ月平均	92.83 %

Birthday 10 月のお祝い



誕生日



◆ 会員誕生	9 日	渡辺俊明君	24 日	丸山征夫君
	26 日	永桶俊一君		
◆ 夫人誕生	11 日	谷ひさ子（晴夫）さん	14 日	熊倉豊子（高志）さん
	19 日	野中恵美子（悟）さん	20 日	大溪明子（秀夫）さん
◆ 結婚記念	3 日	齋藤嘉一君・千代子さん	3 日	吉井正孝君・敏子さん
	3 日	渡辺俊明君・由美さん	6 日	馬場信彦君・淑子さん
	7 日	鈴木 武君・マサ子さん	7 日	田中悌司君・秀幸さん
	8 日	野崎正明君・裕子さん	11 日	石山莊一君・敏江さん
	13 日	丸山征夫君・千代子さん	20 日	銅冶康之君・なをみさん
	21 日	西巻克郎君・富紗さん	21 日	荒澤威彦君・政子さん
	28 日	田代徳太郎君・恵美子さん		

* おめでとうございます *

ラン記者が走る

クラブ会報委員 取材記録

若さ燃ゆるよ

世界はなし我らは若さ
この限りの諸君に告ぐ
熱き血潮を真の愛に

そそぎへくつ悔いあるべきや

ローターアクトローターアクト
我らは若人

ローターアクトローターアクト

抑々燃ゆるよ

ローターアクトの歌である。

9月21日(土)の午前、1M参加の前にアクトの活動取材した。

当クラブ草野会長、富永草野病院での「車椅子清掃」。今年度の社会奉仕活動の一環として実施された。

昨年は、県央地域内RACの活動として、長岡日赤病院で「車椅子清掃」が実施され、その時は150台の車椅子を十数名で行った。

富永草野病院には約200床に1台ずつ、つまり200台の車椅子が備えられている。実のところアクトメンバーの想定外の数。折りしもその日の参加メンバーは仕事等の関係で3名。20台の清掃で手一杯であった。

汗を流しながら、こつこつと丁寧に汚れを拭き取っていた。その姿には本当に頭の下がる思いであった。



(野中 記)

アクトに「今、ロータリーで協力することは何か？」と尋ねるとすかさず「一緒に活動してくれるメンバーを紹介して欲しい」と答えが返ってきた。

事業所の若手社員にアクトクラブの存在をもっと広報して欲しいと切に感じた。

アクトはその他、寺泊海岸の清掃や加茂RC、田上あじさいRCの補助として一人暮らしのお年寄りをバス旅行に連れてゆく「さわやかドライブ活動」も行っている。

アクトの地道な活動に、その実行力には爽やかな感動を覚えずにはいられない。

若さ 燃ゆるよ

その力に大いに期待していきたい。今の若もん、捨てたもんじゃない、たいしたもんだね……。

次週例会 10月14日 (祝・体育の日) 休会

次々週例会 10月21日 「新世代のための月間」ライラ研修報告



ときを超えて

あの日の一枚……

石山荘一会員

三条高校体操部初の中越大会優勝
日本体操界のプリンスを目指していたのですが



三条南ロータリークラブ週報

2013. 9.30

No.2092 No.10